



kanamoto ■ カナモトエグザミナー  
examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ

vol.88

第55期(2019年10月期)第2四半期号

## 東西のビッグプロジェクトで拡大する国内建設需要

### 2020年東京五輪を見据えたインフラ整備

2020年の東京五輪に向けた競技会場の建設プロジェクトが進む一方で、同大会を見据えた交通インフラ整備が本格化しています。東京都心と羽田空港を結ぶ新線開設計画のほか、五輪開幕に合わせて山手線と京浜東北線の田町一品川間に新駅の高輪ゲートウェイ駅が開業する予定です。この駅に隣接する形で現在、品川開発プロジェクトも進行しています。また、2020年ごろの完成を目指す東京外かく環状道路（外環道）、そして各高速道路をつなぐ首都圏中央連絡自動車道（圏央道）など、首都圏の輸送効率向上のカギとなる3環状道路の整備計画も進められています。



東京五輪関連工場の現場（臨海部）

### 2025年大阪万博に向けた再開発計画

2025年国際博覧会（万博）の開催が決定しました。経済効果が約2兆円と試算される万博は東京五輪後の景気浮揚策とも位置付けられ、開催経費3,000億円のうち1,250億円が会場建設などに投入される見込みです。

会場となるのは大阪湾の人工島・夢洲（ゆめしま：総面積390ヘクタール）です。現在、夢洲へのアクセスは道路トンネルに限られているため、約2,800万人と試算される万博来場者を運ぶ輸送手段として大阪メトロ中央線、京阪中之島線、JRゆめ咲（桜島）線など各鉄道の延伸計画が検討されています。今後、湾岸エリアの再開発を含めたインフラ整備が加速すると予想されています。



大阪万博の会場となる人工島・夢洲（写真奥）

#### 夢洲へのアクセス路線構想

- 大阪メトロ中央線
- - - 大阪メトロ中央線 延伸区間
- 京阪中之島線
- - - 京阪中之島線 延伸区間
- JRゆめ咲（桜島）線
- JRゆめ咲（桜島）線 延伸区間



# 第55期第2四半期決算の概況 [2018年11月1日～2019年4月30日]

## ● 連結経営成績 (累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)
第55期第2四半期	91,856 (7.6)	11,266 (2.5)	11,511 (3.2)	7,255 (7.7)	187.62
第54期第2四半期	85,349 (7.8)	10,994 (10.0)	11,155 (8.9)	6,735 (4.1)	190.59

## ● 連結業績予想 (累計)

第55期通期	175,700 (4.5)	18,400 (4.5)	18,700 (4.3)	12,000 (1.2)	310.30
--------	---------------	--------------	--------------	--------------	--------

(注) 括弧内の数字は、前年同期増減率 (%) を示しております。

### [経営環境]

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題の世界経済への影響が懸念されるなど、留意が必要な状況が続きました。

当社グループが関連する建設業界におきましては、公共投資の下支えに加え、民間設備投資についても堅調な企業収益を背景とした維持・更新、省力化への投資、首都圏を中心とした再開発事業など底堅く推移いたしました。一方で、建設コストの高騰や技能労働者不足等、注視すべき状況も継続しております。

このような状況のなか、当社グループは、長期ビジョン「BULL 55」(2015年度～2019年度)の最終年度を迎え、3つの基本方針「国内営業基盤の拡充」「海外事業の展開」「内部オペレーションの最適化」のもと、持続的な企業価値創造に向け、この5年間で当社単体では29拠点を新設、M&Aや業務提携によりアライアンスグループの拠点数も157拠点増加させるなど国内営業基盤の拡充を進め、海外事業も7カ国に拠点展開を行うとともに、昨年導入した新システムを活用したレンタル用資産の適正配置と業務の省力化及び効率化による稼働率の向上等、持続可能な成長基盤の構築をグループ一丸となって取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売

上高は918億56百万円(前年同期比7.6%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は112億66百万円(同2.5%増)、経常利益は115億11百万円(同3.2%増)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は72億55百万円(同7.7%増)となりました。

### [セグメント別の業績]

#### 建設関連

主力事業である建設関連におきましては、東北の復興需要は減少傾向にありますが、東京五輪関連のインフラ整備や再開発事業など、大型プロジェクトが計画されている大都市圏や、北海道、九州、西日本の災害復旧・復興工事も本格化しており、全体を通じて建設機械のレンタル需要は底堅く推移しました。

なお、中古建機販売につきましては、適正な資産構成を維持するため、一定年数が経過したレンタル用資産を計画的に売却したことから、売上高は前年同期比17.9%増となりました。

以上の結果、建設関連事業の売上高は826億2百万円(前年同期比7.6%増)、営業利益は105億50百万円(同1.9%増)となりました。

#### その他

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報通信関連、福祉関連ともに堅調に推移したことから、売上高は92億53百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益は5億5百万円(同13.7%増)となりました。

## ■ 連結財務諸表

### 四半期連結損益計算書(第2四半期連結累計期間)

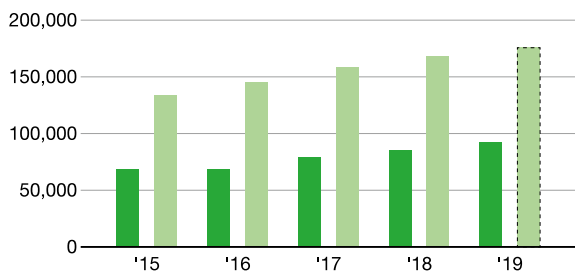
(単位:百万円)	第54期第2四半期 (2017.11.1~2018.4.30)	第55期第2四半期 (2018.11.1~2019.4.30)
① 売上高	85,349	91,856
売上原価	58,052	63,350
売上総利益	27,297	28,505
販売費及び一般管理費	16,303	17,239
② 営業利益	10,994	11,266
営業外収益	376	441
営業外費用	215	195
③ 経常利益	11,155	11,511
特別利益	12	61
特別損失	234	70
税金等調整前四半期純利益	10,933	11,501
法人税、住民税及び事業税	3,724	3,819
法人税等調整額	△ 86	△ 162
四半期純利益	7,296	7,844
非支配株主に帰属する四半期純利益	561	588
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益	6,735	7,255

### 四半期連結包括利益計算書(第2四半期連結累計期間)

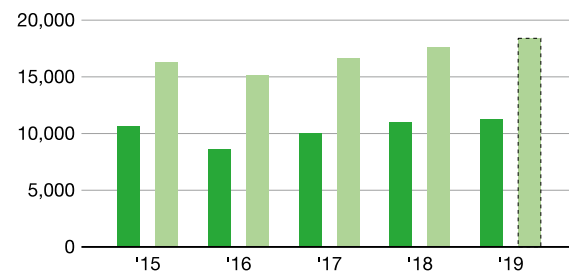
(単位:百万円)	第54期第2四半期 (2017.11.1~2018.4.30)	第55期第2四半期 (2018.11.1~2019.4.30)
四半期純利益	7,296	7,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 127	△ 250
繰延ヘッジ損益	△ 0	△ 0
為替換算調整勘定	4	△ 33
退職給付に係る調整額	△ 0	△ 0
その他の包括利益合計	△ 124	△ 284
四半期包括利益	7,171	7,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,616	6,972
非支配株主に係る四半期包括利益	555	587

■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 通期予想 単位:百万円

#### ① 売上高



#### ② 営業利益



## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)	第54期 (2018.10.31)	第55期第2四半期 (2019.4.30)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	96,448	117,736
固定資産	144,926	151,186
有形固定資産	129,508	137,066
無形固定資産	1,580	1,562
投資その他の資産	13,837	12,558
資産合計	241,374	268,923
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	74,267	84,957
固定負債	65,075	65,370
負債合計	139,342	150,328
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	93,526	110,529
資本金	13,652	17,829
資本剰余金	14,916	19,276
利益剰余金	67,086	73,432
自己株式	△ 2,129	△ 9
その他の包括利益累計額	2,153	1,870
その他有価証券評価差額金	2,148	1,898
繰延ヘッジ損益	0	△ 0
為替換算調整勘定	-	△ 33
退職給付に係る調整累計額	5	4
非支配株主持分	6,351	6,194
純資産合計	102,031	118,594
負債純資産合計	241,374	268,923

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第54期第2四半期 (2017.11.1~2018.4.30)	第55期第2四半期 (2018.11.1~2019.4.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,716	25,528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,562	△ 1,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,250	△ 10,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,903	13,840
現金及び現金同等物の期首残高	35,160	36,733
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	390
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,063	50,963

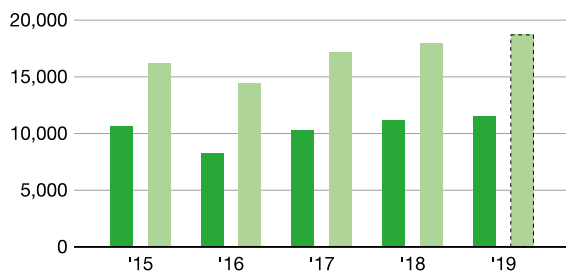
## とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で50名様に当社のオリジナルノベルティグッズをお贈りします。  
今号のプレゼントは、カナモト坊やのスポーツタオルです。ほどよいボリューム感で吸水性もよく、使い勝手の良いサイズなのでスポーツやお風呂などさまざまな用途でお使いいただけます。

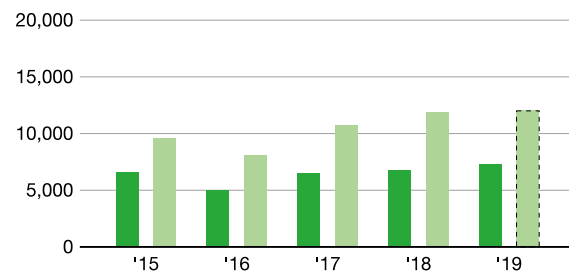


ご応募の締め切りは2019年8月2日(金) 当日消印有効です。  
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

### ③ 経常利益



### ④ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



# TOPICS

**2Q** 2019.2

東証IRフェスタ2019に出展（東京国際フォーラム）

2019.3

ラジオNIKKEI ジャパンツアー-IR in 松山に参加

第55期（2019年10月期）第1四半期決算発表

ラジオNIKKEI ジャパンツアー-IR in 名古屋に参加

2019.4

グループ合同入社式・新入社員研修を実施（137名）

札幌証券取引所主催「札証IR」個人投資家向け会社説明会に参加

サンクスフェア2019：北見を皮切りにスタート

サンクスフェア in カンキ（姫路）を開催

浜松営業所（浜松市中区）を開設

清掃作業を省力化する自律走行吸引型ロボット「AXキューーン」を開発



**3Q** 2019.5

佐久営業所（長野県佐久市）を開設

成瀬ダム営業所（秋田県雄勝郡）を開設

サンクスフェア in 第一機械産業（奄美）を開催

CSPI-EXPO（建設・測量生産性向上展2019）に出展（幕張メッセ）

サンクスフェア in 新庄を開催

山梨南営業所（山梨県西八代郡）を移転

2019.6

建設技術公開EE東北'19に出展（夢メッセみやぎ）

第55期（2019年10月期）第2四半期決算発表

サンクスフェア in 大館、新潟、第一機械産業（鹿屋）を開催

第55期（2019年10月期）第2四半期決算説明会を実施（機関投資家向け）

サンクスフェア in 帯広、福島、水戸を開催

サンクスフェア in 函館、石巻、高崎を開催

ラジオNIKKEI ジャパンツアー-IR in 札幌に参加

2019.7

サンクスフェア in 苫小牧 7/6（土）

サンクスフェア in 青森、山梨南 7/13（土）

ラジオNIKKEI ジャパンツアー-IR in 富山 7/20（土）

サンクスフェア in 盛岡 7/27（土）



## Photo Report

## 東日本大震災の被災各地で進む復興工事



岩手県陸前高田市の水門復旧工事



宮城県牡鹿郡女川町の飯子浜復興道路改良工事



宮城県気仙沼市の気仙沼湾横断橋上部工事



宮城県石巻市の複合文化施設建設工事



宮城県仙台市の宝塚用水路改修工事



宮城県本吉郡南三陸町の防潮堤災害復旧地盤改良工事



宮城県亶理郡山元町の山元地区道路改良工事



福島県双葉郡双葉町の防潮掘工事



福島県双葉郡大熊町の汚染土壌仮置場造成工事



福島県南相馬市の防潮掘工事

## 会社概要 (2019年4月30日現在)

商号	株式会社力ナモト(英文: Kanamoto Co., Ltd.)
本社	北海道札幌市中央区大通東3丁目1番地19
営業統括本部	東京都港区芝大門1丁目7番地7
設立	1964(昭和39)年10月28日
資本金	178億29百万円(払込済資本金)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部・札幌証券取引所
証券コード	9678
発行済株式総数	38,742千株
連結売上高	1,681億88百万円(2018年10月期)
連結従業員数	3,135名(2018年10月31日現在) (役員、嘱託、臨時社員を除く)

## 株主メモ

事業年度	11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社
同郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社
及び電話照会先	

## 役員 (2019年4月30日現在)

代表取締役会長	金本 寛中	常勤監査役	金本 栄中
代表取締役社長	金本 哲男*		横田 直之
取締役	成田 仁志*	監査役	橋本 昭夫
	金本 龍男*		生島 典明
	平田 政一*		松下 克則
	磯野 浩之*	執行役員	熊谷 浩
	長崎 学*		問谷 悟
	麻野 裕一*		北川 健
	橋口 和典*		渡部 純
	内藤 進		佐藤 信幸
	及川 雅之		中谷 秀樹
	米川 元樹		廣瀬 俊
			山下 英明

(注1) \*印の取締役は、執行役員を兼任しております。  
(注2) 取締役内藤進氏及び取締役及川雅之氏、取締役米川元樹氏は社外取締役であります。  
(注3) 監査役橋本昭夫氏及び監査役生島典明氏、監査役松下克則氏は社外監査役であります。  
(注4) 社外監査役直井院氏は、2019年4月29日に逝去され、同日をもって監査役を退任いたしました。

当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。  
ホームページのURLは下記のとおりです。  
<https://www.kanamoto.co.jp> または <https://www.kanamoto.ne.jp>  
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

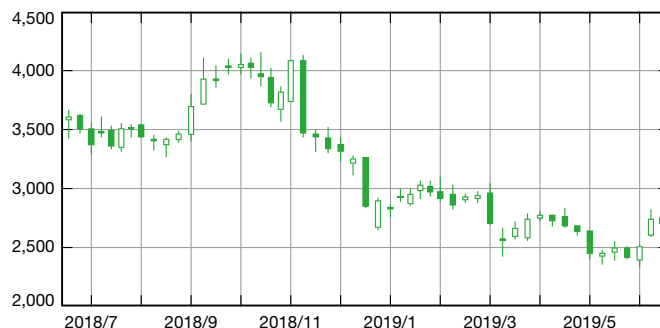
証券代行部 〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号  
証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号  
電話 0120-232-711

### 株式に関する各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株価チャート (週足)

単位:円



**R100**  
古紙配合率100%再生紙を使用



本誌は、再生紙と  
ベジタブルオイルインキを使用しております。



株式会社 **力十七ト**

(東証一部・札幌 証券コード9678)

本社

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel: (011) 209-1600 (大代表)

営業統括本部

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目7番地7

Tel: (03) 5408-5600

<https://www.kanamoto.co.jp>